

アンゴラ情勢報告（2013年6月）

【6月の政治動向】

<内政>

- ・ **輸出入品の出荷前検査**：5月31日，政府は大統領令を發布し，閣議令2006年6月17日付政令の10, 11, 12条を改訂し，これまで任意としていた輸出入品の出荷前検査 (inspeção pré-embarque) を義務づける旨発表。
- ・ **公的ファンドの創設**：4日，マサーノ中銀総裁は，住宅購入資金借入れを拡大すべく好条件での貸し付けを実施する公的ファンドを創設する考えを示した。
- ・ **水資源**：11日，クバンゴ・オカヴァンゴ流域圏に関する省庁間セミナーが開催された。ボルジェス水・電力大臣は，クバンゴ川ーオカヴァンゴ流域圏に関する国家行動計画，戦略的アクションプログラムは，水資源の持続的管理，国の経済開発に資するものである旨述べた。
- ・ **避難民支援**：政府は，保護や難民認定に関する内務省の諮問機関として新たに省庁間避難民委員会を設置する意向を示した。
- ・ **電気料金の見直し**：電気セクター規制院 (Instituto Regulador do Sector Eléctrico) は，年内にも政府に対し電気料金引き上げを提案する考えを示した。現在，政府は電気料金に対し年間480億クワンザの補助金を支払っており，右負担を軽減する目的。電気料金は10～15%引き上げられる見込み。
- ・ **公共投資に係る強化委員会**：13日，コスタ大統領府大臣は，国家予算に含まれる公共投資に関する分析を行う強化委員会を創設した旨発表。公共投資をコントロールし，透明性を確保するためのメカニズムである由。
- ・ **石油・ガス関連**：
 - 16日，アンゴラ LNG がブラジルへ向けて初出荷。
 - ヴァスコンセロス石油大臣は，今後数年でアンゴラが有数の天然ガス生産国となることに期待。現在，ソナンゴルとその提携企業が天然ガスの新たな埋蔵を探索中。同大臣によれば，多くの国が関心を示しており，なかでもアジア諸国と EU 諸国がより高い LNG の取引額を提示している。また，インドとの間に石油，ガス分野での MoU を締結する意向を示した。

- ・ **産業**：18日、ヴァンドゥーネン保健大臣は、新しい医薬品工場 Nova Angoméica の完工式に出席。同工場の建設により、医薬品の国内生産を増強させ、輸入を減少させる狙いがある。一月あたり薬2千万錠を生産する能力があり、2017年からは抗 HIV/エイズ薬を生産する予定。

- ・ **海底ケーブル敷設**：アンゴラ・ケーブルのメンデス・コマーシャル・マーケティング部長は、現在、アンゴラー南米（ブラジル）間、アンゴラー北米間に光ファイバーの海底ケーブルを敷設する計画があり、既に欧州（英国）から南アに延びるケーブルには接続しているが、通信、データ通信、音声、映像といった分野で南アからは独立した独自の通信網を確立したいとの考えを示した。

- ・ **鉄道**：トマス運輸臣は、アンゴラとコンゴ（民）、ザンビア、ナミビアを繋ぐ鉄道建設計画は、まもなく完工する旨発表。

- ・ **ビジネス環境改善**：世界銀行は「Angola Economic Update 2013」を発表。同レポートによると、アンゴラは、ここ8年間で起業に際しての事務的手続き向上によりビジネス環境が改善している。

- ・ **投資**：

- 民間投資庁 (ANIP) は、総額4591億クワンザにのぼる13の契約に署名。分野は、産業、建設、運輸、サービス部門で、契約先は、ナミビア、葡、英国、ドイツ、オランダ、中国等の企業。

- 3日、ANIP の新法務責任者 (Administrador Jurídica) に José Chinjamba が就任。

- ・ **ソブリン・ファンド**：21日、アンゴラ・ソブリンファンド (FSDEA: Fundo Soberano de Angola) は、同ファンドの投資政策が政府に承認された旨発表。同政策によると、資金確保、長期的投資のリターン最大化、インフラ開発の3つの指標に基づき投資が実施されることとなる。

また、新総裁に役員であったジョゼ・フィロメノ・ドス・サントス（大統領の息子）を任命した旨発表。

- ・ **文化**：文化省は、アンゴラの美しい自然7選「Sete Maravilhas Naturais de Angola」を選出する旨発表。同プロジェクトは世界各国で実施されている試みであるが、アフリカの国で実施されるのは初となる。

- ・ **政府内人事**：25日、ドス・サントス大統領は、Leonel Felisberto da Silva（レオネル・フェリスベルト・ダ・シルヴァ）を国庫担当副大臣に任命。同氏の前職は財務省税務国家局長。

- ・ **大統領私的外遊**：26日、ドス・サントス大統領が私的休暇でバルセロナへ出発。

<外交>

- ・ **アンゴラ金獅子賞**：1日、ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展において、初参加のアンゴラが国別金獅子賞を受賞。
- ・ **独・アンゴラ関係**：ボルジェス電力・水大臣は、ドイツがカンバンベ・ダム水力発電用タービン購入費用として625億クワンザのファイナンスを行う旨発表。
- ・ **露・アンゴラ関係**：
 - アンゴラとロシアは、今年8月に両国の企業を集め、ビジネスフォーラムを開催する予定。
 - 20～22日、シコティ外相はロシアにて開催された国際経済フォーラムに出席。
- ・ **サントメ・アンゴラ関係**：コスタ・サントメ・プリンシペ首相がアンゴラを訪問し、ドス・サントス大統領と会談。年内に2国間協力委員会を開催する意向を示した。また、同首相はアンゴラからの投資を歓迎する旨述べた。
- ・ **葡・アンゴラ関係**：ポルトガル外務副大臣がアンゴラを訪問し、ブラガンサ外務副大臣と会談。
- ・ **ルワンダ・アンゴラ関係**：17日、ルワンダ外相がアンゴラを訪問し、シコティ外相と会談。両国大統領の会談日程を調整。
- ・ **英・アンゴラ関係**：英国の外務省アフリカ担当大臣がアンゴラを訪問し、アウグスト外務副大臣と面談。また、27日にはヴィセンテ副大統領とも面談。英国は、石油分野以外にも教育、農業分野においてアンゴラとの協力関係を強化したいとの意向を示した。
- ・ **スイス・アンゴラ関係**：ジュネーブで行われた Fórum África Finance 2013にアンゴラ企業が参加。スイス企業は、アンゴラの金融、再生可能なエネルギー、製薬、農産加工といった分野への投資に高い関心を示した。
- ・ **ギニア湾会合**：ヴァンドゥーネン防衛大臣は、中部アフリカ諸国経済共同体、西アフリカ諸国経済共同体、ギニア湾委員会のメンバー諸国首脳会合に出席。ギニア湾における海賊対策、窃盗等違法行為防止に関し協議。
- ・ **大西洋岸諸国元首脳のアングラ訪問**：オバサンジョ元ナイジェリア大統領等大西洋岸諸国の元首脳がアンゴラを訪問し、ドス・サントス大統領と会談。
- ・ **鉱物資源分野**：ケイロス地質鉱山大臣は、ベルギーにて開催された「アフリカ経済の変容：天然資源の役割」フォーラムに出席。大臣は、ヨーロッパの対アフリカ協力の現在のモデルは間違えており、変更が必要である旨言及。ヨーロッパモデルは、自分たち見解を押しつけ、アフリカ諸国の独立、主権、尊重を損ねる恐れがある旨述べた。

- ・ **TICAD V** : 1～3日, 日本にて第5回アフリカ開発会議 (TICAD V) が開催され, アンゴラからはシコティ外相が首席代表として出席。同会合において, 安倍総理大臣は, 今後5年間にインフラ整備やアフリカの成長促進の為に320億ドルを支援する旨発表した。
- ・ **UNICEF 対アンゴラ支援プログラム** : UNICEF は, 保健, 教育, 法律, 社会支援といった分野における子どもの権利保護政策に対し6000万ドルの支援プログラムを実施する。同プログラムは, 次5年間で実施され, 妊婦や幼児に対する保健医療, 栄養摂取, HIV/エイズ対策等も含まれる。
- ・ **国連食糧農業機関会合** : 15日, 国連食糧農業機関 (FAO) の第38回会合が行われ, アンゴラが2015年までの貧困対策目標を既に達成した20カ国の一つとして紹介された。
- ・ **SADC 関係** : 15日, モザンビークにて SADC 特別首脳会合が開催され, アンゴラからはシコティ外相が出席。マダガスカル大統領選等につき意見交換を行った。

【基本事項】

<一般情報>

- ・ 国名はンドンゴ王国の王号ンゴラに由来。人口1961万8432人¹ (2011年世銀推計)
- ・ 旧ポルトガル植民地であり、1975年に独立。独立後、1975年から2002年まで長年に亘る内戦を経験し、2002年に和平を達成。

<政治体制・内政>

- ・ 大統領を元首とする共和制国家。
- ・ 2002年の内戦終結以降、民主化を進めており、国内政治的には非常に安定。
- ・ 2008年9月に内戦終了後、16年ぶり2度目の国会議員選挙が実施され、与党アンゴラ解放人民運動党 (MPLA) が81.3%の得票で圧勝。
- ・ ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス大統領は、初代大統領アゴスティーニョ・ネトの死去を受け、1979年9月20日就任。
- ・ 2010年に新憲法が施行。首相職が廃止され、副大統領を設置。大統領と国会議員の選出を同一の選挙で実施する「議院大統領制」が採用された。大統領の任期は5年²、2期まで。議会は1院制 (議席数220、任期5年)。
- ・ 2012年8月31日、新憲法の下で初、史上2度目の大統領選挙、史上3度目の国会議員選挙となる総選挙が実施され、ドス・サントス大統領が再任された。

(了)

¹ 2014年に国勢調査の実施を予定。